

平成24年度 南房総市行政改革推進委員会 第2回会議録

- ・開催日時 平成24年10月22日(月) 午前10時～12時15分
- ・開催場所 南房総市役所別館1 1階大会議室
- ・出席委員 石井洋子委員 金木久代委員 大和田慎一委員 八代弘樹委員 黒川操委員
鈴木孝雄委員 吉田弥一委員 栗原保博委員 渡邊富夫委員 鈴木健史委員
- ・市側出席者 市長 副市長 教育長 総務部長 企画部長 保健福祉部長 市民生活部長
農林水産部長 商工観光部長 建設環境部長 富山国保病院事務長 水道部長
会計課長 教育次長 議会事務局次長 朝夷行政センター所長
総務課長 財政課長 企画政策課長
行政改革推進室長 同副主査 同副主査
- ・次第
 1. 開 会
 2. 委嘱状交付
 3. 本部長あいさつ
 4. 委員紹介
 5. 会長・副会長選出
 6. 議 事
 - (1) 行政改革推進委員会に関する要綱等について
 - (2) 行政改革推進体制について
 - (3) 市の財政状況について
 - (4) 第2期行政改革推進計画及び定員適正化計画について
 - (5) 公共施設再編及び組織再編の状況について
 - (6) その他
 7. そ の 他
 8. 閉 会
- ・公開又は、非公開の別
公開
- ・傍聴者 5名

●要 旨

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 本部長あいさつ
4. 委員紹介
5. 会長・副会長選出

委員の互選により、会長は鈴木孝雄委員、副会長は大和田愼一委員に決定した。

6. 議 事

- (1) 行政改革推進委員会に関する要綱等について説明。

【主な意見】

特になし

- (2) 行政改革推進体制について説明。

【主な意見】

特になし

- (3) 市の財政状況について説明。

【主な意見】

委 員 合併特例債の延長は実際にはあるのか。

財政課長 現在、平成32年度までの5年間延長されている。その後についてはわからない。

委 員 今までの10年間、徐々に延長されている中で、状況はどうなっているか。

財政課長 合併特例債については243億円を上限として借りられることになっている。ただし、平成32年度で終了となる。

委 員 貯金も増えているが借金もあるということだが、ある程度貯めたら、負債を減らす方向にできないか。利息や利子の負担もあるから、負債を減らした方が市のためになると思う。

財政課長 借金を返すための基金を積み立てている。積み立てた中で、早期返済をする方向で考えている。

市長 市の借金のうち、だいたい70%程度は、将来、国が返済してくれる性質の借金である。市では、起債は、将来的にわたり、世代間負担の公平化を基本的に考えている。

財政課長 借金は287億円あるが、有利な条件の借金をしている。主要な貯金は、財政調整基金は77億円、特定の目的を果たすための基金は61億円、借金返済のための減債基金は21億円である。

委員 将来使う目的の貯金があるという説明があったので納得した。

(4) 第2期行政改革推進計画及び定員適正化計画について説明。

【主な意見】

委員 およそ10年後には、交付税が30億円減少し、職員を150人から200人減らすことについて市長に考えを伺いたい。

市長 財政見直しは、3～5年サイクルで見直しが必要となる。職員については、今後10年間位で、100人近くを減らしていかなければならない。その後のことに関しては、国の財政に対する変化に合わせ、臨機応変に行っていく必要がある。

委員 今の状況を見ると、職員を100人減らすには、部の統合をしていかないと減らせない。大変な状態だと認識する。

委員 企業誘致について、どのような条件で誘致するのか。どこの部署が行うのか。今、計画されているものはあるか。

商工観光部長 企業誘致については、商工観光部で行っている。平成23年度の取組状況は、市や県のホームページで情報提供を行い、引き合いのあった企業には、候補地の現地案

内を行い、積極的な情報提供を行った。また、企業誘致及び雇用促進に関する条例改正を行い、雇用促進奨励金額を1人あたり60万円に増額し、3000万円を限度とした。新たに、中小企業新事業及び雇用創出支援事業の要綱制定を行い、起業家や業務拡充をする事業者に対し、設備投資の支援を行った。旧千歳小学校の跡地の公募を行い、3社から応募があり、審査を行い、今後、業者と協議を行う予定である。

委員 学校、大学、専門学校への誘致活動はしているか。

商工観光部長 検討をしているが、なかなか折り合いがつかない。

委員 職員定数の削減率は、国は5.7%、市は14.4%とし、前倒しで削減されているが、最終的に、平成27年までに国の5.7%を削減するという理解でいいのか。

市長 市の職員数は、今後、10年間位は国が示す基準よりも大幅に削減をしなければならない状況である。それが何パーセントになるかは言えないが、国が示す基準よりは大幅に削減を進める。

総務部長 国の方針は、平成21年に議決し、それから5年間で5.7%減らすとしている。本市の場合は、合併前の旧町村から引き継いだ人口当たりの職員が、市の中では割と多い状況にある。

委員 人数を減らし過ぎて、業務が稼働しなくなるという問題がでてくるのではないかと、うところで質問をした。

委員 GISとは何か。資料の実施概要に現行のGISでは対応できないとあるが、どういうことか。また、資料の編纂について、市政の重要度や計画にあたる難易度を記載すれば見やすいと思う。

市民生活部長 GISとは、航空写真、公図を共有化し、公図と現況写真を重ね合わせたもので、番地の現状や面積の情報を検索することができるシステムである。今現在は、まだ

情報が少ない状態である。

市長 GISとは、地理情報であり、多目的に使用することができるものである。

委員 このシステムの管理はどこで行っているか。

市民生活部長 市で行っている。

委員 配布資料は、メリハリをつけるなど、わかりやすく改善してほしい。

総務部長 意見を参考にし、改善したい。

(5) 公共施設再編及び組織再編の状況について説明。

【主な意見】

特になし

(6) その他

【主な意見】

委員 フラワーラインの管理はどこか。また、フラワーラインに1年中花を植えることはできないのか。

商工観光部長 花の管理は商工観光部で行っている。財政等の状況から、年間を通じて咲く花に切り替えている。

建設環境部長 道路は、安房土木事務所が管理している。

委員 フラワーラインを区分けし、花の植栽や管理を市民に公募し、経費の削減を考えてみたらどうか。

商工観光部長 部内等で検討する。

委 員 資料の事前配布をお願いしたい。

行政改革推進室長 今後、事前配布を行う。

委 員 膨大な資料を時間内で把握できないため、余裕をもって配布願いたい。

7. その他

事務局 次回の委員会の予定について

- ・今年度の開催予定はない。会議の案件が出たら、早めに連絡をする。

8. 閉 会